

# 【日本医科大学附属病院 がん化学療法レジメン】

◀無断転載禁止▶

レジメン番号： NSC-193

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非小細胞肺がん	Nivolumab+Ipilimumab+CDDP+PEM	下記参照	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	ChecMate 9LA N Engl J Med.2019;381:2020-31

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																																						
					1					8						15								22									29							36			43
オブジーボは3週ごと、ヤーポイは6週ごとの投与を繰り返す																																											
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																																			↓			
②	オブジーボ 生理食塩液	360mg/body 100mL	点滴静注	30分	↓																																				↓		
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																																					↓	
④	ヤーポイ 生理食塩液	1mg/kg 50mL	点滴静注	30分	↓																																						↓
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																																						↓
CDDP+PEMは2コースで終了																																											
⑥	デキサート アロカリス パロノセトロン	9.9mg 235mg 0.75mg	点滴静注	30分	↓																																						↓
⑦	ペメトレキセド 生理食塩液	500mg/m <sup>2</sup> 100ml(全量)	点滴静注	10分	↓																																						↓
⑧	硫酸Mg補正液 フィジオ70	8ml 500mL	点滴静注	60分	↓																																						↓
⑨	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	↓																																						↓
⑩	シスプラチン 生理食塩液	75mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	60分	↓																																						↓
⑪	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	↓																																						↓

## <注意事項/備考>

- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽(空咳)など、胸部X線検査やSpO2モニタリングなどで定期的なモニタリングを
- ✓ 血糖上昇：口渇、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意、来院時には血糖値の測定を

- ✓ 大腸炎・下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
- ✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を
- ✓ PEMの副作用軽減目的のために、葉酸とビタミンB12を併用
  - 葉酸：初回投与7日以上前から1日1回0.5mgを連日経口投与（PEM中止/終了の場合は、最終投与から22日目まで継続）
  - ビタミンB12：初回投与少なくとも7日前に、1回1mgを筋肉内投与（投与期間中、投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与）
- ✓ Nivo、Ipi：0.2または0.22  $\mu$ mのインラインフィルターを用いて投与